

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

2023年 3月 27日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 176-0001

所在地 東京都練馬区練馬1-20-2

評価機関名 株式会社日本生活介護

認証評価機関番号

機構 02 - 015

電話番号 03-3991-8440

代表者氏名 佐藤 義夫

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	山本 吉士郎	経営	H1201029
	②	野田 友子	福祉	H0202088
	③	鈴木 雄司	福祉	H2101005
	④			
	⑤			
福祉サービス種別	認定こども園			
評価対象事業所名称	芝浦アイランドこども園			
事業所連絡先	〒	108-0023		
	所在地	港区芝浦4-20-1		
	TEL	03-5443-7337		
事業所代表者氏名	園長 興津 夏子			
契約日	2022年 8月 3日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022年 9月 2日			
利用者調査結果報告日	2022年 11月 17日			
自己評価の調査票配付日	2022年 9月 2日			
自己評価結果報告日	2022年 11月 17日			
訪問調査日	2022年 11月 28日			
評価合議日	2022年 11月 28日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者(保護者対象)調査は、アンケート用紙と第三者評価の目的や主旨、問い合わせ等を説明した文書をつけて、事業所から手渡して配布をした。記入後は返信用封筒に入れ、評価機関へ郵送してもらった。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023年 3月 27日

事業者代表者氏名 園長 興津 夏子

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 命を大切にし、今の時を喜びをもって生きるこども 2) 愛されていると感じ、人を愛し、友だちと遊べるこども 3) 自分で感じとったことを、素直に表現できるこども 4) 土・水・風と遊べる元気なこども 5) 世界に羽ばたき、平和を愛するこども</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <p>子ども一人ひとりが安心感と信頼感を持てるような保育者であるとともに、子どもの特性や発達の過程がわかり、必要な援助ができる保育者。</p> <p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもたちが愛されていると感じることができ、安心して毎日を過ごせることを目指してほしい。</p>

調査対象	全園児世帯の保護者を対象とした。 複数の在園児がいる場合は、最年少の子どもに対しての回答をお願いした。		
調査方法	園から調査票を配布し、記入後は返信用封筒に入れ、評価機関へ郵送してもらった。		
利用者総数	176		
利用者家族総数(世帯)	150		
共通評価項目による調査対象者数	150		
共通評価項目による調査の有効回答者数	81		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	54.0		

利用者調査全体のコメント

調査対象者150世帯中81世帯から回答を得ることができた。満足度の高い項目として、「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」「園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか」「職員の接遇・態度は適切か」「園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」「子どもの気持ちを尊重した対応がされているか」などがあげられる。
総合的な満足度は、73名が「大変満足、満足」、4名が「どちらともいえない」、3名が「不満」と回答した。また、「先生全員がいつも笑顔で明るく雰囲気がとても良い園です」「担任以外の先生方も全員で子どもを見てくれていると感じます」「園庭が広く都会では恵まれた環境でありがたいです」「コロナ禍においてもさまざまな工夫をしてくれています」「アプリで連絡できるようになり便利になりました」「お昼寝は少し長いように思います」「感染症の発生や対策のお知らせは、保護者にもメールなどで周知してほしいです」などのコメントがあがっている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 運動や休息の配分は、子どもの発達の状態や在園時間にに応じて工夫されているか	65	12	4	0
65名が「はい」、12名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「日中の活動などでよく動けていると思います」「適度に身体を動かし、本や歌にも触れられています」「子どものペースに合わせて工夫してくれています」「もう少し外遊びの時間があると嬉しいです」「お昼寝の時間が少し長いかもしれませんが」などのコメントがあがっている。				
2. 園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか	74	4	3	0
74名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「先生や友達と接する中で身についたことも多く、成長していると思います」「園児の人数も多いので、いろいろと刺激を受けていると思います」「自宅ではできない経験の中で社会性が身についています」「教育という意味では少し足りないかと思います」などのコメントがあがっている。				
3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	70	10	1	0
70名が「はい」、10名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「自由遊び以外にも歌や絵本の読み聞かせなどを毎日やってもらっています」「家ではできない大規模な絵の具遊びやマット遊びなど、楽しくやれています」「個々の好きな遊びを選んで取り組める機会が増えると良いと思います」などのコメントがあがっている。				

4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	75	6	0	0
75名が「はい」、6名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答は見られなかった。 「季節感や栄養バランスにも配慮されていて、子どもが楽しめるよう工夫されています」「ご飯の時間が一番楽しいと子どもが言っています」「少し量が少ないような気がします」などのコメントがあがっている。				
5. 園の生活の中で、身近な自然や社会と十分関わっているか	59	18	4	0
59名が「はい」、18名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「コロナ禍でもいろいろ工夫してくれているのが伝わります」「戸外遊びは少ないですが行事は多く、季節も意識されています」「毎日園庭遊びや散歩の時間があり、とても良いと思います」「コロナの影響で以前よりは減っていると思います」などのコメントがあがっている。				
6. 保育時間の変更が急きょ必要になった場合、開園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思うか	65	3	2	11
65名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「いつも温かく柔軟に対応してくれてありがたいです」「仕事に支障がないように柔軟に対応してくれます」「アプリからの連絡がいつでもできるようになると良いと思います」などのコメントがあがっている。				
7. 安全対策が十分取られていると思うか	63	14	2	2
63名が「はい」、14名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「外出時には二人ひと組で手をつないでいたり、工夫されているようです」「確認する機会があまりありません」「もう少し出入り口の防犯面対策をしてほしいです」などのコメントがあがっている。				
8. 園の活動に保護者が参加しやすいよう、工夫されているか	68	6	6	1
68名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、6名が「いいえ」と回答している。 「日程が選べるので助かります」「日程や時間などを調整できるように配慮されています」「コロナのため人数制限があるのが残念です」などのコメントがあがっている。				
9. 子どもの教育・保育について家庭と園に信頼関係があるか	62	16	2	1
62名が「はい」、16名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「送迎の時などにお話ししてもらっています」「先生と保護者とで一日一回はお話する機会が必ずあります」「日誌で情報共有や相談ができます」「人によってばらつきはあるように感じます」などのコメントがあがっている。				
10. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	69	10	1	1
69名が「はい」、10名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「いつもきれいです」「トイレなど衛生面が気になることもあります」などのコメントがあがっている。				

11. 職員の接遇・態度は適切か	74	4	2	1
74名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「いつもきちんとしてくださいますし、忙しい時もきちんと向き合ってくれます」などのコメントがあがっている。				
12. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	66	12	2	1
66名が「はい」、12名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「丁寧に対応してもらっています」「保健室もあり適切に対処してくれます」「今まで大きな問題や怪我はないです」などのコメントがあがっている。				
13. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	56	13	3	9
56名が「はい」、13名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「ちゃんと仲裁に入って注意されている場面を見かけたことがあり、信頼しています」「まだ経験がないためわかりません」「親にも情報共有してもらえるとありがたいです」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	69	9	1	2
69名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「話を聞いてくれています」「子どもの気持ちは汲みながらも注意すべきところはきちんとしてくれます」「対応する人によります」などのコメントがあがっている。				
15. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	64	14	0	3
64名が「はい」、14名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答は見られなかった。 「相談した時の内容は守られていると思います」「まだその経験がないのでわかりません」などのコメントがあがっている。				
16. 教育・保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	62	11	6	2
62名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、6名が「いいえ」と回答している。 「書面での説明はわかりやすいです」「毎月の園だよりや年初の説明がわかりやすいと思います」「あまり聞いたことがありません」などのコメントがあがっている。				
17. 利用者の不満や要望は対応されているか	55	14	5	7
55名が「はい」、14名が「どちらともいえない」、5名が「いいえ」と回答している。 「きちんと話を聞いて対応しようとしてくれます」「要望は聞いてくれると思います」「また要望を伝えたことがないのでわかりません」などのコメントがあがっている。				

18. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	29	23	12	17
<p>29名が「はい」、23名が「どちらともいえない」、12名が「いいえ」と回答している。 「アプリで活動やお知らせを確認することができます」「育児相談の時に、カウンセラーに相談できることなど教えてもらいました」「まだそこまで困ったことはありません」などのコメントがあがっている。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	<p>保育理念「保育園、幼稚園のそれぞれの良さを生ず」目指して保育運営を行っている</p> <p>芝浦アイランドこども園は区立園として指定管理者「公益財団法人東京YMCA」が運営を担っている。園が運営を行う基本方針は「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」及び「重要事項説明書」や「カリキュラム」に明示している。職員には定期的な会議と掲示、及び年次の説明会において周知を図っている。また、見学者や利用希望者にはパンフレットやホームページで説明し、保護者には入園時の配布資料によって説明をしている。また、懇談会の場や「園だより」に掲載によって園の考え方を伝えている。</p> <p>園長は組織を統括して、理念の実現のため先頭に立ってその役割を発揮している</p> <p>園長は、常に港区及び法人(本部)の方針を念頭の置きながら、経営層(施設管理者)としての役割を発揮して、職員の先頭に立っている。園を運営するための職務分担の決定、年度計画の推進及び各プロジェクトの推進をしている。また、安全管理の統括や、保護者の支援に取り組んでいる。さらに、職員の育成のために個々の希望や特性を把握して、法人と連携して計画的な育成プログラムを実行している。当園は地域の複合施設に立地しているため、在園児以外の、子育て家庭の支援事業を運営するための統括的な役割を発揮して地域に貢献している。</p> <p>重要な案件について、審議したり、決定したりする手順は決められている</p> <p>重要な案件において、意思の決定をするための組織体制、各種会議の役割は決められている。決定までのプロセスは乳幼児会議、リーダー会議を経て、園長主任会議で決定に至っている。ただし、案件によっては各クラス、専門職での討議を経る場合もある。本部での決定事項は園長主任会議を経て、職員に伝達され、港区からの通知も園長を通じて、職員や場合によっては保護者に知らせている。利用者(保護者)にかかわる案件は、保護者懇談会、手紙、園だより(ホームページ経由でのアクセスも可能)・掲示などで伝えている。</p>	

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者や職員の意向を聞き事業運営のニーズを捉えて、課題の抽出に努めている</p> <p>保護者の意見や要望を把握するため保育参加及び保護者参加の行事でのアンケートによって、感想を収集し、課題を抽出して次年度の行事計画に反映させている。職員からは年2回の懇談による意向の確認の結果から得られた情報は、今後の園運営の参考にし、場合によっては本部に上げて法人としての取り組みとしている。また、区担当部門との定期的な会議を行い、解決すべき課題を共有している。また、当園が区立園であることから、区の総合支所との定期的な会議によって地域の保育情報を収集して、園内に周知している。</p> <p>法人の決定した中長期計画を基に、園の年度ごとの事業計画を作成している</p> <p>港区が提唱する「地域保健福祉計画」の中期的な計画を参考にして、法人の決定した中長期計画を基に、年度事業計画書を作成している。年度事業計画書の作成に当たり、昨年度の事業運営の振り返りを行った上で、今年度の方針を明らかにしている。運営方針、児童処遇、職員処遇、子育て支援事業の詳細を説明している。同時に、「入園のしおり(兼重要事項説明書)」、「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」を改訂して、職員に周知している。また、年間行事予定表は、極力日付を決定して保護者に配布して、予定作成に配慮している。</p> <p>計画の着実な実行に向けて、進捗管理を行い、必要に応じて計画の見直しをしている</p> <p>指導計画の作成に当たって、クラスリーダーを中心に、子どもたちの実態と発達を盛り込んだ案を作成している。これを、リーダー会議で各クラスの連続性を配慮して審議し、全体会議に上げて決定している。行事・避難訓練等の計画は前年の反省を踏まえて担当者が実行案を作成して、必要予算や職員の負荷を検討の上決定している。計画の実行については、年3回の評議委員会及び年1回の運営協議会に報告し、総括を受けている。また、区担当部門からは、四半期ごとに監査を受けて、改善の必要がある課題にはその解決までの情報を共有している。</p>		

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当	
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当	
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当	
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当	

カテゴリ-3の講評

福祉サービス事業に従事する指針や基本的な手順を、マニュアルに則って学んでいる

職員が福祉サービス事業に従事するための規範は、「職員のしおり」や「保育職としての心得」に表されている。これらを職員で読み合わせをした上で、行動規範についての説明を受けて、これを順守するため誓約書を提出している。また、「入園のしおり」の内容について、職員全員による共有に努めている。また、保育理念・方針や行動指針を初めとして、人権尊重と個人情報保護、プライバシーポリシー、ハラスメントについて継続的に学習するため、全体会議において話し合う機会を設けている。

保護者等から意見・要望・苦情を受け付ける窓口を明示して、解決への手順を定めている

保護者から意見・要望・苦情を受けるための窓口は「入園のしおり(兼重要事項説明書)」中に園内、本部及び区の総合支所及び保育課の連絡先を明示している。当園では、これらを受けた場合、自らの保育と保護者への対応を振り返る機会と捉えている。また、園内に「ご意見箱」を玄関ロビーに設置している。園内での情報伝達の仕組みを「保育マニュアル」にフローとして表し、全職員が対応できるようにしている。さらに、書式化された意見・苦情記録簿の記入によって、解決までの流れの検証や原因究明、再発防止に役立てている。

地域の福祉ニーズにこたえるため、様々な交流及び貢献をしている

当園は新しく開発された高層住宅群の中に立地している。福祉サービスを行う施設として、当こども園及び児童高齢者交流プラザ併設されて、常に連携しながら「共に育ち・育て合う子育て支援の拠点」を目指している。子どもたちにとってはさまざまな出会いを体験している。また、在宅の子育て家庭も含めて、地域の福祉ニーズにこたえるため、一時保育や休日・祝日・年末保育等を実施している。また、当園の専門性を生かして、育児講座、育児相談を行い、同時に、施設を利用した園庭開放やこども園であそぼう等のイベントを企画し、目的を果たしている。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>「安心・安全」を実践するため、リスクマネジメントに取り組んでいる</p> <p>当園は海岸に近い運河に囲まれた場所にあるため、自治体の設定するハザードマップを常に意識して、危機管理と避難対策を講じている。当園ではリスクに対する優先順位はつけていないが、リスクマネジメントに関して職員会を通して研修を行っている。また、「安心・安全」への理解のため、アレルギー対応、感染症対応、救急対応等の講習の受講を職員全員に義務付けている。また、年間計画として避難訓練等を行い、地震、火災、不審者対応、引き取り訓練を行っている。訓練には、必要に応じて警察署、消防署の協力を受けている。</p> <p>当こども園が立地している環境を考慮した、事業継続計画の作成を計画している</p> <p>大規模な災害や深刻な事故等に直面した際は、迅速に適切な対応ができるように、「港区災害対応マニュアル」「緊急時対応マニュアル」に従って行動できるようシミュレーションを行っている。特に、初動体制において被害状況の把握や連絡網の構築や適切な備蓄計画、職員の参集の指針等を重視している。また、業務が停止した場合の再開までの手順については港区の基準に従っている。現在、子ども園独自の、事業継続計画(BCP)の作成を計画し、地域の特殊性を盛り込もうとしている。</p> <p>個人情報保護について職員に周知し、保護者には重要事項として説明し、了解を得ている</p> <p>こども園では、子どもの入園に際して様々な個人情報を扱っているため、書類の管理については「港区情報保護条例」に準じて行っている。個人情報保護に関して、規定を定め全職員が継続的に学習している。また、文書類の保管方法及び電子データ類格納方法は規定に従って運用している。保護者には、入園時に重要事項として、個人情報の取扱いについて説明して、了解を受けている。情報を外部の公共機関等に提供する場合及びパンフレット等に掲載する児童の写真等を使用する場合には保護者の同意を得ている。</p>		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

職員の採用は法人が行い、ホームページで園の紹介や保育内容の公開をしている

当こども園は開園して17年が経過しているが、欠員が生じた場合は本部と職員体制の状況を共有して充当する人材の補充を依頼している。本部では、ホームページとリンクした採用情報での人材募集案内や教育機関にパンフレットを送ったり、訪問したりして園の特色を説明している。また、提携校の専門校からの実習生の受け入れによって園の内容を知ってもらう機会を作っている。また、見学者には園長が面談をして考え方と人材育成について説明して、就業後のミスマッチを防ぎ、定着への取り組みを行っている。

法人の目指すキャリアパスを実現するために、さまざまな研修プログラムを用意している

法人は、長期的な展望に立った人材育成の方針を明確にして、法人の一員としてのキャリアパスを示している。いっぽう、園では園長による面接によって各職員の意向を話し合い、期待する姿を説明し、育成計画につなげている。職員の専門性の資質向上に向けて、さまざまな研修プログラムを用意している。法人研修・保育士等キャリアアップ研修・園内研修を行っている。特に園内研修では、保育者の保育の姿をビデオ撮影した後、多くの保育者と共に振り返り意見交換をした上で、有識者による講評を受けて保育向上に努めている。

意欲をもって仕事ができるように、情報の共有とより高いレベルの業務を目指している

当園は大規模園であるため、職員の数が多く、日々の情報伝達に工夫をしている。毎日のスタンド会議でその日に伝えるべき情報の共有を全クラスで行っている。さらに、職員が研修に参加した場合のレポートは、誰でも閲覧できるようになっている。同時に、職員会での発表によって、共有化を図っている。また、職員が3つのグループに分かれて、毎年課題に取り組みケース会議として事例も含めてパワーポイントで発表している。その際に、学識経験者による講評を受けている。なお課題の1つとして、“鍛えたい体幹の動き”をテーマとして取り組みを行った。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p> <p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>【課題・目標・背景】遊びを通して学びを培うという観点から「教育・保育の質の向上をどのように具体的にやっていくか」を課題とした。理由として、コロナ禍で子どもの遊びが制限されている中で、特に、気になる子どもの育ちも含めて考えると保育の質向上が重要であると考えたためであった。</p> <p>【取り組み】以下を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議のような内部研修を行い、テーマとして「聴覚・嗅覚を使った遊び」や「鍛えたい体幹の動き」等を選んだ。 ・港区による外部研修への派遣を増やした。 ・日常的な活動報告を写真で行い、乳児には週案を保護者が閲覧できるようにした。 <p>これらの取り組みを踏まえて、研究報告会につなげていった。</p> <p>【取り組みの結果と検証】</p> <p>検証の結果から今後の方向性として、担当職員の更なる意欲によって本テーマの意義を深めるため報告会を行った。その際に、学識経験者を招き、選んだテーマや取り組みの進めかた等についての講評を頂き、保育の質の向上につなげることができた。また、保育内容の見える化によって、保護者が理解し易くなった。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>【評語に関して】本件に関しての、課題の選択過程や結論への導き方、結果の振り返りまでPDCAのサイクルがつながり、今後の展開によって職員の全体的なレベルアップが期待される。</p> <p>【講評】今回の取り組みを行う中で、グループディスカッションを行い職員の多様な意見を皆で話し合う事は重要な事と考えられる。成果物の発表段階での表現方法等を学んだことは副次的効果となった。</p>	
<p>評価項目2</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p> <p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>【課題・目標】次の課題として、「こども園としてSDGsどのように進めていくか」選んだ。</p> <p>【理由・背景】課題としたことは、法人の社会的責任として取り組むためのきっかけとして「使う責任作る責任」を考えた。</p> <p>【取り組み】「入園のしおり(兼重要事項説明書)」が一人当たり40ページを超過内容であったため、印刷を廃止して、保育支援システムを使って保存することで、保護者がいつでも手元で閲覧できるようにした。</p> <p>【取り組みの結果と検証】</p> <p>保護者にとっても紙で配られるよりは、手元ですぐ確認できる方法が良かったとの声が多数あり、さらに機能が広げられないかとの要望もあった。園日より、保健日より同様に配信している。さらに、さまざまなアンケートも紙を廃止している。その結果、連絡の行き違いのクレームや欠席連絡に電話が激減した。今後は保護者対応のみならず計画や記録などの機能も拡張していきたい。</p>	

目標の設定と 取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>【評語に関して】今回の取り組みの結果、業務のペーパーレス化の観点で一定の成果があり、保護者からの反応も歓迎する意見が多数あった点から十分な成果があったものと考えられる。</p> <p>【講評】 港区が提唱するSDGへの着眼点として、今後は子ども達にどのように展開して行くかの課題の発掘に期待する。また、保育支援システムの機能上の限界(書類の保管期限など)の把握も留意する必要がある。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>パンフレットや指導計画の掲示で、教育・保育の取り組みを伝えている</p> <p>見学者や利用希望者には、パンフレットやホームページなどで情報を提供している。パンフレットは、副園長を主に、園長、業者の方も一緒に関わり作成している。内容として重視している点は、園のイメージを伝えることや子どもが主体的に遊んでいる所を掲示している。一時保育のパンフレットもあり、事業内容がわかるものとなっている。英語バージョンのものも作成し、利用者のニーズにあわせる対応をしている。また、園内には、月間指導計画や週間指導計画などが掲示しており、園の教育・保育への計画を見学者が知る事ができる取り組みも行っている。</p> <p>創意工夫のあるホームページを作成し、分かりやすく情報発信をしている</p> <p>利用希望者への分かりやすい情報提供として、ホームページを活用している。区のホームページのほか、法人で作成したものもある。園側からは、毎月の園だよりや園庭開放、こども園で遊ぼう、子育て支援講座などを発信している。また、ホームページの内容が充実しており、概要では保育理念・方針・目標や一日の流れ、年間行事では和太鼓に取り組んでいる子どもの姿、子育て支援、毎月の園だよりには園長より「育つ力」の教育・保育への思いがつつられている。保護者の同意を得た上で子どもの写真を載せたホームページは見やすく理解しやすくなっている。</p> <p>見学希望者の受け入れ時の説明を丁寧に行ない、園生活を知らせている</p> <p>利用希望者からの問い合わせや見学の事前申し込みは電話で受けている。見学は毎週水曜日の10時30分からとしており、3名以上の見学者の申し込みがある場合もある。10月、11月に見学を申し込んだ方が年末ぐらいになる程、見学者がいる。見学時は、園長か副園長が対応し、乳児の保護者、幼児の保護者と知りたいニーズの違いに対応している。乳児は持ち物類の説明、幼児では園で大切にしている教育・保育について説明をしている。また、現在の子どもの様子や大規模園と小規模園のメリットを話している。一時保育や子育て広場の紹介もしている。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの指導・援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>新入園までの流れに沿った説明や、個々の家庭の情報収集を丁寧に行っている</p> <p>新入園内定の保護者には、面接日程・健康チェックカード・健康診断のお知らせ等、入園に必要な書類一式を封書で送っている、その後、送付した書類一式を持参してもらい個別面接をリーダー、主任、ケースによっては看護師が行っている。面接時に重要事項説明書から抜粋した簡潔な文書も渡している。健康診断終了後、入園式を迎えている。入園式は、乳児・幼児一緒に行い、園長より重要事項の説明をしている。説明では理念・方針や大事なことの経験、教育理念について、コロナ対策についてなど、新入園時に周知・徹底してもらいたい事柄を伝えている。</p> <p>新入園児の情報を共有し、手厚い体制での受け入れをして安心感を与えている</p> <p>入園面接時に聞き取った個別の情報や要望は、書式に記録し、新入園児申し送りの会議で「新入園児面接表」に沿って、面接した職員を中心に全職員に説明している。新入園児の受け入れに際しては、保育歴や保護者の就労状況を考慮して、子どもによりよい保育状況になるよう努めている。乳児は離乳食・乳児食の進行状況を聞き取り、一人ひとりに合わせた状態で食事提供を進めている。また、一週間をめぐりに慣れ保育を実施し、特に0歳児の受け入れ時は、見慣れた顔の保育者が受け入れるようにしている。初日は0・1歳児クラスは、保護者同伴としている。</p> <p>退園する親子への思いを込めた関わりを通して、継続した援助につなげている</p> <p>途中退園する子どもや卒園児への対応をきめ細やかに行っている。退園児には、全職員がメッセージカードに子どもへの思いを書き、渡している。幼児は他の子が描いた絵をプレゼントしている。卒園児は、就学前には、小学校見学を行い、学校生活への安心感を持たせたり、入学後は、必要に応じて担任との連携を図ったりしている。保護者にはいつでも困り事や悩み事の相談に来ても良いと伝えることや立ち寄ってほしいことなどを伝え、不安感の軽減や支援の継続性に配慮している。元気な姿を見せにくる親子もいて、退園後も園とのつながりが持っている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	13/13
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画(教育課程を含む)や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画(教育課程を含む)を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの様子や子どもを取り巻く状況に即して、指導の過程についての反省や評価を行い、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な指導・援助内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、指導・援助を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが指導事例を持ち寄り、話し合う場を設けることで職員の専門性を高め、一人ひとりの幼児理解を共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
<p>個人日誌や一人ひとりに作成している発達の記録で成長過程を把握している</p> <p>子どもの心身や生活状況は個人日誌や発達の記録に記入し、把握している。発達の記録は「発達の記録記入の仕方」を基に、乳児は月1回、翌月の20日迄に記入、幼児は3ヶ月を目安に記入とあり、子どもに変化が見られた時にチェックしている。また、保育経過記録の内容は健康生活・人との関わり・ことば・あそびと細かく項目立てがしており、子どもの様子が分かる記入の仕方となっている。3・4・5歳クラスは、後期の育ちを「認定こども園こども要録」にまとめるなど、一貫した取り組みとなっている。個人日誌は2歳クラスまで作成し、活用している。</p> <p>全体的な計画から年間指導計画、月間指導計画へとつながるよう立案している</p> <p>「全体的な計画」は、園長と副園長が作成し、運営協議会にかけて見直しをし、改訂したものを職員に見せ、常勤職員に配布している。「全体的な計画」は教育・保育をねらいとしているこども園にふさわしい内容となっており、年齢別の養護・教育の発達の道筋も確立したものととなっている。全体的な計画を基本として、各クラス毎に、年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画が立案され、評価・反省も行われ、夫々の計画がにつながる流れとなっている。一方で0・1・2歳クラスは個別の指導計画を作成しており、個別のねらいは口頭で保護者に伝えている。</p> <p>リーダー会議、スタンド会議、ケース検討会議を実施し、情報共有を図っている</p> <p>指導計画や個人の記録の内容は、クラス会議や担任間で把握しているほか、リーダー会議やスタンド会議ですべての職員が情報を共有できるようにしている。月間指導計画については、主にリーダー層で毎月、評価・反省と次月の計画を共有し、クラス職員にも伝達している。毎日の諸伝達は、昼の時間に各クラスから1人が出席し、前日の午後から当日の午前中の出来事や子どもの体調、長時間保育で担任と会えない子どもについて等、全職員が把握しておくべき内容を伝達・確認している。また、ケース検討会議もあり、個別事例を話しあい、理解を深めてもいる。</p>			

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した指導・援助を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の教育・保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した指導・援助を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>個人情報厳守への心構えや、生活の中で羞恥心への配慮を行っている</p> <p>個人情報については、「入園のしおり(重要事項説明書)」の中に、個人情報保護に関する事項について詳しく明記し、保護者や職員にも伝えている。職員は意識しており、地域の作品展に4・5歳児クラスが万国旗の作品を出展する際も、名前を消している。また、子どもへの羞恥心の配慮についても、おむつ交換や着替えの際は、カーテンを閉めるほか、日常的な着替え時や身体測定時などは、4・5歳児クラスは男女別々の部屋で行っている。排泄の失敗なども、他児に分からないよう声かけをし、トイレで始末している。各自の人格を尊重した対応をしている。</p> <p>家庭での生活習慣の受け入れや、気持ちに寄り添った対応に努めている</p> <p>子どもや保護者への接し方として、日常の教育・保育の中で各家庭での過ごし方や生活習慣に配慮した関わりをしている。一人ひとりの子どもの心に寄り添うよう努めたり、子どもの目線で心を通わせる保育実践を目指したりしている。保護者には、適宜の距離感を保ちながら、職員は丁寧な保護者対応を心がけている。また、地域から外国籍の親子が多いこともあり、ベジタリアンの子どもの受け入れや日本語を話すのが恥ずかしい子の気持ちを受け止め、保育者は翻訳機材を活用しながら対応する事もある。保護者にその国の文化を紹介してもらう試みもしている。</p> <p>行動規範へのチェックシートの活用や見直し、外部講師の助言も受けている</p> <p>個別の援助が必要な子どもや家庭に対して、担任とは密に話し合うほか、スタンド会議や職員会議で全体の職員と連携を取り合い、対応の仕方を周知・徹底するよう努めている。また、虐待防止に向けては、区の子育て支援係や家庭支援センター、児童相談所との連携を図っている。園内では、職員の行動規範を厳守するため、チェックシートを活用し行動のチェックを行い、結果をクラス内で話し合っている。個別にも職員の言動の振り返りをして、職員同士で言葉づかいや接し方など、お互いに注意し合う関係性を築いている。外部講師による助言も受けている。</p>		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
6	事業所業務の標準化	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p>各種マニュアルの作成や、独自の「職員のしおり」の周知を図っている</p> <p>「2021アレルギー他様式集・マニュアル集」や「職員のしおり」などを作成している。マニュアル集の中には食物アレルギー、健康・看護マニュアル、病児病後児保育などのほか、「職員のしおり」には、職員の心構え編として日常保育での心配り(接遇全般・守秘義務・保育者の姿等)、意見・要望・苦情への対応、子どもの安全を守るためのポイント等を明記しており、マニュアル類は随時閲覧できるよう設置している。「職員のしおり」については、入職時に個別に渡しており、法人が謳っている保育で大切にしている項目や保育方針の実践を示唆している。</p> <p>業務の点検や各種計画の評価・反省、園運営の総括を年度末に実施している</p> <p>業務点検の手段として職員は、各種チェック表での確認や補食・夕食の手引きを使用し、文書や口頭で流れの再確認をしている。「職員のしおり」に関しては、副園長や他園の法人の副園長のグループで更なる統一化を図るため途中で見直しを行っている。教育・保育の基本事項の見直しは、月間指導計画のミーティングで評価・反省をしている他、「全体的な計画」は期毎や一年間のまとめと次年度に向けての検討をしている。また、年度末にはリーダーが集まってクラス毎の振り返りをする他、管理職は年度末に次年度の配慮点など、園運営の総括をしている。</p> <p>保護者や職員の意見要望を受け入れ、改善に向けた対応を心がけている</p> <p>保護者から意見・提案を受けることとして、保護者参加の行事後は、アンケートを行い、保護者の意見や思いを次の行事の参考にしていく。"手紙"を保育ICTシステムに導入してほしいとの要望に応えたり、土曜日保育の申し込みも同システムでの申し込みを可能にしている。職員からの意見では、シフト作成時、子どもの育ちに鑑み、保育者の配置を手厚くしたい時間帯の申し出を受けて、対応している。一方では、日常的な会話の中で、改善点を話し合うことや、各係(防災・玩具・図書)が年度目標を決め活動した内容の振り返りを次年度に反映させている。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた指導・援助を行っている				
			評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで指導・援助している			○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している			○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の教育・保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう指導・援助している			○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			○非該当
●あり ○なし	6. 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、指導・援助している			○非該当
評価項目1の講評				
<p>入園前の個人面談で一人ひとりの子どもの状況を把握し、発達に沿った指導を行っている</p> <p>入園前に個人面談を行い、子どもの状況や家庭環境について把握をしている。面談では、子どもの気になる点やアレルギーなどについて、一人ひとり聴き取り、チェックを行っている。入園後は、送迎時に保護者から家庭での様子を聞いたり、園からは連絡ノートなどで、子どもたちの保育園での様子や活動を伝えている。一日の取り組みは、園独自のスケッチブックに記述し、活用している。日々、成長する子どもたちの発達を正確に把握するために、乳児では、年に2回、幼児では年1回の個人面談を行っている。また、必要に応じて個人面談は、随時行っている。</p> <p>散歩では、地域の人や交番のおまわりさん、消防署職員の方に進んであいさつをしている</p> <p>こども園では、園庭での活動に加えて、園外での散歩等を積極的に取り入れている。散歩では、子どもたちが、街を歩き交う地域の人たちや交番のお回りさん、消防署の職員に進んであいさつをしている。また、同じ建物にある高齢者の施設と年に数回、遊びや交流する機会を設けている。さらに、日舞の先生による盆おどりを楽しむ機会もあり、卒園式には、高齢者の方も招待している。玩具は、木のぬくもりが感じられるものや、布による手作りのもので、ケガが起きないよう安全なものを使用している。子どもが環境に対して興味をもてるように工夫されている。</p> <p>トラブルが発生した時は、経過を踏まえて、子どもの気持ちに寄り添った対応をしている</p> <p>こども園では、子どもたちに、絵本などを活用して、日常的に文化や習慣の違いを認め合うことを伝えている。異年齢での交流の機会を設けて、お互いが理解できるような保育を進めている。障害を持つ子どもや年下の子どもへのかかわりも自然な行動ができるように援助している。トラブルが発生した時は、その事象で判断するのではなく、その前の子ども同士のやり取りや状況を把握した上で、子どもの気持ちに寄り添った対応に心がけている。かみつきがあったときは手当をし、かんでしまった子には、友だちの気持ちを知らせるなど、配慮ある対応をしている。</p>				
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した教育・保育を行っている				
			評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している			○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう指導・援助している			○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している			○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている			○非該当

評価項目2の講評		
<p>登園時に連絡ノートを受け取り、記録などに目を通しながら、子どもの様子を確認している</p> <p>登園時に連絡ノートに目を通しながら、子どもの表情や動き、全体の様子などを確認している。前日に体調が不良だったり、ケガをしたり、ぐずっているような気になることがあった場合には、保護者から様子をしっかりと聞き取り、相互に確認をしている。家庭での様子を連絡ノートを見ながら、熱・便、その他体調の異常や、投薬状況を確認しながら、体調の変化があった場合の判断材料にしている。スケッチブックには、前日での園の様子を書き込み、保護者に伝えるようにしている。登園時、子どもの状態をしっかりと確認することが一日のスタートとなる。</p> <p>年齢と発達に応じた個人計画を作成し、基本的な生活習慣が身に付くように指導している</p> <p>食事・排泄などの基本的習慣は、年齢に応じた発達を捉えながら、個人の計画を作成し、子どもが自分から意欲的に取り組み、身に付けていけるように支援している。2歳児は、オムツからパンツへと入れ替わるが、1歳児でもパンツになる子どももいる。保護者の意見を聞いて、その子どもの発達の到達に合わせた対応をしている。食事の量においても細かく調整をしている。お替わりをする子もいれば、1回の量を増やす子、減らす子もいる。乳幼児期の食行動や食生活の基礎を押さえながら、その子どもの状態に合わせた、きめ細かな支援、対応を行っている。</p> <p>子どもの年齢や生活時間に合わせて、休息や睡眠時間の長さや方法を決め、対応している</p> <p>子どもの年齢より、生活時間が個々に異なるので、昼寝(休息)はそれに合わせて睡眠時間の長さや方法を決めて対応している。0歳児は、午睡の仮眠を取っている。1歳児以上は、午睡の時間を家庭と連携を取り、個々の状況に合わせて行うようにしている。1歳児以上は、昼食後入るが、寝入りの時間は多少異なる。寝ることはなく、体を休めるだけの子もいる。3時には全員が起きるようにしている。年長児は、小学校入学を控えているので、年明けには仮眠は取らなくなる。個々に、仮眠の時間等の対応が異なるので、トラブルが起きないように注意している。</p>		
<p>3 評価項目3 日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう指導・援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>登園時に園庭を有効に活用して、4・5歳児が、自由に遊び込める時間帯を保障している</p> <p>全体的な計画の「環境の構成」部分に、自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせることができるよう、遊具等を意図的・計画的に整え、自ら健康で安全な生活をつくりだせるようにする」と記述されている。玩具は、子どもが興味を持って取り出せるように設定することを心がけ、遊びの様子や子どもの希望により、乳児にも机上の遊びを設定している。幼児は、子どもが素材を自由に使えるように配置している。また、登園時に園庭を有効活用して、4・5歳児を受け入れており、子どもたちが自由に体を動かして遊び込める時間帯を保障している。</p> <p>個々の遊びを重視するとともに、集団での遊びや、言葉や表現の活動にも力を入れている</p> <p>個々の遊びを重視するとともに、絵本・紙芝居を読んだり、手遊びをする時などに、保育者の近くに集まってきた子どもたちと集団で遊ぶ楽しさを味わえるようにしている。幼児教育では、みんなが集まるおひさまタイム(朝の会)・体操の講師を招いての4・5歳児体力向上プログラム、うたやゲーム、遊びのなかで英語を楽しむ英語プログラム、英語交流体験などに主体的にかかわれるように援助している。また、言葉による伝えあいを楽しめるように、保育者が仲立ちになり支援している。表現活動では、和太鼓、ダンス、合奏などに取り組んでいる。</p> <p>職員による、子どもの遊びについての研究成果を、保育活動の中に創造的に活かしている</p> <p>職員は、SPIRIT、MIND、BODYの3チームに分かれて子どもの遊びについて研究を行っている。毎年、課題研究に取り組み、学識経験者を招いて研究発表会を開いている。こうした成果を保育活動の中に生かしている。戸外活動の中で、風・土・光・水などに触れて、子どもたちの気持ちを開放している。自然物の少ない都会の環境のなかで、保育者が視野を広く持ち、木の葉の移り変わりやどんぐりなどの木の実拾い、プランターのなかでの虫探しなどを実践している。園外活動の徒歩遠足で、子どもが自然との触れられるよう意識的に取り組んでいる。</p>		
<p>4 評価項目4 日常の教育・保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当

評価項目4の講評		
<p>4・5歳児は、荒馬座の観劇会に参加、気持ちを高めて日常の和太鼓活動につなげている</p> <p>年間の行事を準備するあたり、子どもたちのクラスで話し合いをしたり、関連する歌をうたったりして、興味や関心を高め、子どもたちが期待をもって取り組めるように援助している。4・5歳児は、荒馬座の観劇会に参加して和太鼓への気持ちを高めて、日常の和太鼓の活動につなげている。4歳児は、5歳児の太鼓演奏を見学する。5歳児に太鼓を教えてもらい太鼓を叩いてみる。5歳児は演奏を通して、音楽の楽しさを知る。友達と力を合わせて演奏し、見る人、聴く人に感動を与えるように取り組む。また、日常での活動が、様々な行事に結びついている。</p> <p>日常の活動や取り組みが、行事や発表会の和太鼓、合奏、オペレッタ等に関係している</p> <p>0～2歳児の行事等は、無理のない程度に見て楽しんで参加することを重視している。2歳児は、運動会の練習や予行演習を見て楽しむようにしている。3歳児は、日頃から親しんでいる歌や体操を取り入れている。4・5歳児は、クラス内で話し合いをして意見をまとめ、みんなで協力してやり遂げる喜びを味わえるようにしている。こうした活動や取り組みが、えんにちや盆踊り、収穫感謝祭などに結びついている。絵本を読み、シナリオにして、劇にする流れが生まれている。発表会での和太鼓、合奏、オペレッタなどは子どもたちの活動の集大成となっている。</p>		
5 評価項目5		
在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>こども園は、一人ひとりの状況を理解した上で、子どもに寄り添った保育を実施している</p> <p>入園のしおりに、「一日の生活リズムや在園時間の異なる子どもが共に過ごすことを踏まえ、活動と休息、緊張感と開放感等の調和を図るよう配慮します」、また、「長時間の保育については、保育の内容と方法、環境などに十分配慮し、家庭との連携を密に図っていきます」と記述されている。こども園では、こうした方針を元に、早朝から登園する子どもや、夕食を利用の子ども、幼教育のみの子ども、と多様な利用と保育時間の形態があるなかで、一人ひとりの状況を理解した上で、子どもに寄り添った保育を実施している。予定はその日の朝に確認している。</p> <p>夕食の有無について、保護者の意向をよく聞き、相互に連絡を取り合って対応をしている</p> <p>延長保育は、一時保育の部屋を活用している。年齢に応じて0～5歳がそれぞれ遊べるような遊具や絵本、パズル等のものが用意されている。夜間になるので、夕食の有無についても、保護者の意向をよく聞き、相互に連絡を取り合って対応をしている。子どもたちが、安心して時間を過ごすように配慮した場面の設定を行っている。担当した職員は、子どもたちに無理をしないように心がけている。この時間帯には、夜間担当する職員が入ることで、人的にも安全と質を確保している。子どもたちが、不安なく、保護者の迎えを待てるように対応している。</p> <p>在園時間が長くなる中では、異年齢の子ども同士が関わりをもつような保育を進めている</p> <p>在園時間が長く、子どもへの心身の負担が増すなかで、延長での合同保育の形態は、年齢の低い子どもに対する思いやりが育まれることに配慮した保育を実施している。年齢の低い子が、年齢の高い子どもの行動や遊び、言葉のやり取りに興味を持つことがある。一緒に遊んだり、遊びをリードしたり、絵本を読んであげたり、折り紙を教えたり、と自然な関わりが生まれている。同年齢の保育ではなく、異年齢の保育の良さを活用して、人数の少ないなかで、無理なく、穏やかな形態で行われている。子どもが家庭に戻る上で、安心した場として位置づけられている。</p>		
6 評価項目6		
子どもが食事を楽しめるよう配慮している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. 園で提供する食事は、メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評		
<p>こども園の給食では、栄養のバランスを考えて、楽しく食事ができるように配慮している</p> <p>入園のしおりに「保育園の給食では、栄養のバランスを考えるとともに、マナーの習得や、楽しく食事ができるようにいろいろ配慮しています」と記述されている。給食の目標にも、「皆で楽しく食事をして、望ましいマナーを身につける」としている。0歳児は朝の授乳時間や朝食の時間を考慮して、いつも同じ環境で落ち着いて食事が取れるように、担当保育者ができるだけ介助につくようにしている。スープを食缶にいてれて子どもの目の前で配膳したところ、食欲が刺激されて、食が進む効果があった。工夫を凝らして、楽しい食事が取れるよう心がけている。</p> <p>食事メニューは、港区が用意した統一の献立表を元に、園で独自に工夫して作成している</p> <p>メニューは、港区が用意した統一の献立表を元に、園で独自に工夫して作成している。給食の分量や味付けなどについては、保育士と栄養士が連携して適切なものになっている。子どもの給食の残量を把握したり、クラスの担当者から状況を聞いて、次の味付け等に生かしている。給食会議には、副園長も参加して内容を確認している。誕生会の昼食は、その月の季節にあった飾り付けをして子どもたちに提供している。誕生日メニューは、誕生会の出し物に関わるものを作っている。また、日本の郷土料理を取り入れて、工夫を凝らした食事は子どもたちに喜ばれている。</p> <p>年度のはじめに、園長、栄養士等で会議を持ち、確認した内容を職員全員に周知している</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもには、保護者から、事前にかかりつけの医師の指示書を提出してもらい、これに基づき個々に対応をしている。また、保護者には生活管理表も提出してもらい、年度のはじめに園長、副園長、栄養士、看護師で会議を行い、確認した内容を職員全員に周知している。宗教など、文化の違いを理由に除去をする場合も書類の提出をお願いしている。食への関心を高めるために、幼児は、野菜の栽培に取り組み、自分たちが育てた野菜に関心を持てるようにしている。収穫感謝祭に参加し、実際に野菜を観察して、栽培の楽しさを味わっている。</p>		
7 評価項目7		
子どもが心身の健康を維持できるよう指導・援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように指導・援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>看護師が、日常的に手洗いの指導や絵本・パネルシアターで必要性や大切さを伝えている</p> <p>保健計画の年間目標に①生活リズムの確立。衛生週間の援助を行い健康の基盤を作る。②子ども自身が危険から身を守る力を養えるように働きかける。と掲げられている。看護師は、日常的に手洗いの指導をする他に、絵本やパネルシアターなどを用いて、年齢毎に子どもたちに、その必要性や大切さを伝えている。特に、感染症が出た場合には、手洗い・うがいの大切さを知らせ、看護師による指導と確認を徹底している。また、遊びの場面で、危険なことをしているときは、その場で危険な行為に対して子どもにわかりやすく説明を行い、ケガの防止に努めている。</p> <p>嘱託医や巡回のカウンセラーと連携を取り、専門機関の指示を受けて、保育を行っている</p> <p>医療ケアが必要な子どもたちについては、嘱託医や巡回のカウンセラーと連携を取り、専門機関の指示を受けて保育を行っている。嘱託医には、気になる子どもの様子などについて事前にメール等で伝えておき、巡回した際に詳しく専門的な説明と指示を受けるようにしている。毎月の身体測定等には、看護師の他に園長も立ち合い、子どもたちの発育・発達の状態を直接目で見て確認をしている。測定の結果等については、ICTソフトの導入により、当日、保護者に直ぐに伝わり、また、成長曲線上に身体・体重が載ることにより、視覚的に理解できるようになった。</p> <p>年間の保育計画には、保護者・地域との連携を図り、信頼の関係を築くと記述されている</p> <p>保健計画の年間目標に「保護者・地域との連携を図り、共に子育てして行くよう、信頼の関係を築く」と記述されている。入園のしおりにとも家庭と一緒に子どもの健康づくりを進めるために早寝・早起きの推奨、登園前の体温測定、体調のチェックのお願い、入浴・洗髪・体を拭くなどの体の清潔の習慣、乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防するための注意事項、予防接種の案内と確認、乳幼児健康診査の案内と保育園への連絡、感染症への知識と医師の意見書と登園のめやす、保育園での与薬についての約束事などについて丁寧に説明されている。</p>		
8 評価項目8		
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、生活形態や子育ての考え方の違いなど、個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の教育・保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評	
<p>保護者がそれぞれ抱えている環境を考慮して、急な残業にも柔軟に、温かく対応している</p> <p>利用者調査結果には「何度かご迷惑をおかけしましたが、柔軟に温かく対応していただけ、ありがたかったです」と感謝のコメントがある。延長を利用する場合は、事前に対象者を把握しているが、保護者がそれぞれ抱えている環境を考慮して、急な残業に柔軟に対応し、受け入れを行っている。18:15分までは当日でも個人的な事情でも対応している。それ以降については、事前に申請をもらうことにしている。送迎時に誰がお迎えをするかは、写真で確認を行っているが、当日に変更のある場合は、保護者に再度確認をして事故がないよう徹底している。</p> <p>保護者同士の交流を行い、「ほっとするコーヒーやさん」で保護者との信頼を培っている</p> <p>芝浦アイランドこども園では、開園当初から、PTAが組織されており、年度の初めにクラス懇談会を開催して、事業計画の検討やPTAの役員を選出を行っている。園長が会長を兼ねているので、保護者同士の交流を園として組織しやすい条件にある。PTAは秋の運動会や発表会に力を発揮して、保護者同士の交流も行われる。職員との関係では、園として、月に1回、入口のエントランスで「ほっとするコーヒーやさん」を開いている。お迎え前の保護者に声かけをして、コーヒーと麦茶を職員が提供して、積極的に保護者とのコミュニケーションを図っている。</p> <p>保育参加の日程については、園で限定せずに、保護者の都合に合わせてやり方している</p> <p>保育参加として、年に1回程度、自由に保護者が選択できるプログラムを用意している。保育参加の日程を園で限定せずに、保護者の都合に合わせてやり方している。これまでは、期間を限定していたが、変更したことで、子どもへの負担も減り、日常の様子も見てもらえるようになった。終了後には面談を行うことで、問題点の共通認識にもつながっている。子育て支援講演会や港区の巡回指導やカウンセリングを年3回行い、子育ての悩みなどを専門家に相談できる機会も設けている。栄養士が講師となり、離乳食の講座も開催され、利用者からは好評である。</p>	
<p>9 評価項目9</p> <p>地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している <input type="radio"/>非該当
評価項目9の講評	
<p>併設施設の児童高齢者交流プラザと、そこを利用している児童高齢者と交流を進めている</p> <p>芝浦アイランドこども園では、地域交流プログラムとして、併設している児童高齢者交流プラザの日本舞踊講師による盆踊りの指導を4・5歳児が受けている。毎年の恒例行事となっている。また、コロナ前は、昔遊びなどを教えてもらう機会を複数回設け、双方にとってよい交流の場となっていた。プラザには児童館や学童クラブもあり、大勢の子どもが入り込んでいる。卒園児が通うことになる学童クラブとの交流も生まれている。現在、施設同士での交流はないようだが、今後、幼1年生とのつながりを考えると、連携のあり方を検討されてもよいかと思われる。</p> <p>園庭の開放や、「こども園で遊ぼう」で、地域の親子たちとの交流を積極的に進めている</p> <p>港区の統一した方針として、保護者が保育園を訪問する事業を積極的に進めている。各園は、独自に地域の親子が楽しく参加できる企画を用意している。コロナ禍で機会は減少したが、園庭開放では、安全が確保された環境で、在園児と地域の親子と一緒に遊ぶことができた。また、「こども園で遊ぼう」では、親子のわらべ歌やクリスマス会を企画、地域の親子だけでなく在園児も活動に参加している。申し込みが多く、入園を希望する保護者にとっては、こども園を理解するよい機会になっており、地域の親子にとっては、子育て支援プログラムとして人気が高い。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル①	職員同士の協調性を育みながら、保育・幼児教育基盤の充実への取り組んでいる	
内容①	園は、保育・幼児教育基盤の充実を掲げている。その1つに、日本古来の文化伝承の一環として、和太鼓や民舞に取り組む、子どもたちも楽しんでいる。保育者もこれらを学び、その成果を保護者、地域住民の集まる行事等で披露している。同様に体力向上プログラム等も実施して、保育者同士が協調して、子どもたちを援助している。これらの取り組みの結果、教育保育力の向上を目指した保育者同士の協調性を向上させ、課題の追求・実践を通してグループ活動につなげている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
タイトル②	きめ細やかな入園当初の配慮や、退園時の対応も適切な情報共有に努めている	
内容②	入園当初のストレス軽減のため、0・1・2歳クラスは、初日は保護者と一緒に過ごしている。また、在園児の登園が多い時間帯を避け、9時30分頃からの受け入れとして、落ち着いた状況の中で預かっている。一方で、途中退園児についても手厚い配慮をしており、職員全員がメッセージカードを書き渡している。幼児は他児が描いた絵のプレゼントを贈っている。また、3・4・5歳クラスの退園時は、「認定こども園こども要録」を記入し、転園先に渡すなど、子どもの姿を共有する、転園先とのあるべき姿の実現が難しい中、幼稚園機能を活用している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	PTAが組織され、保護者同士や職員とのかかわりや交流が、制度として保障されている	
内容③	こども園では、開園当初からPTAが組織されている。年度の初めにクラス懇談会があり、保護者同士の話し合いや、年間事業の確認、PTA役員の選出等が行われている。一般的に保護者同士の交流を作るには意図的な取り組みが必要だが、こども園では、組織的に保障されている。PTAの活動として、運動会や発表会があり、この場面で保護者たちが活躍して保護者同士の交流が図られている。また、職員は、意識的に保護者との交流やコミュニケーションを図るために、「ほっとするコーヒーやさん」のコーナーを設定して、信頼関係を築く機会を設けている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	利用者(保護者)の様々なニーズに応えるため、地域の保育サービスの拠点としての役割を担うための体制を整えている
	内容	当園は港区のこども園の基本理念に沿って、多彩な特別保育事業を行い、利用者のニーズに応えている。在園児には長時間の延長保育(22時まで)、近隣の子育て家庭には一時保育、緊急一時保育、休日保育、年末保育を行う体制を整えている。また、園の専門性を生かした支援では、育児相談に対応したり、栄養士による離乳食の相談にのったりしている。さらに、園庭開放により、安心・安全な場を提供している。このように、区立こども園として地域で保育サービスを行う拠点としての役割を果たしている。
2	タイトル	都会の中の限定された環境を生かして、子どもの遊びや活動を発展させている。また、子どもの日常の遊びや活動を様々な行事に結びつけている
	内容	こども園では、都会の限定された環境を生かしながら、子どもの遊びや活動を発展させている。登園時の園庭での自由な遊びから、散歩等による戸外での自然や人とのふれあいの活動。これらが子どもたちの心身の開放を促している。また、これらの日常の活動を様々な行事につなげている。和太鼓の活動と連動してのおみこづくりを行う縁日WEEKでは、日替わりで子どもたちが縁日会場を訪れ、輪投げ、ヨーヨー等で遊んだ。4歳児よりクッキングを経験し、5歳児のデイキャンプでは野外炊飯でカレー作りに挑戦した。
3	タイトル	課題を決めた研究を行い、学識経験者を招いた研究発表を実践し、教育・保育の質を高める取り組みを実現させている
	内容	保育目標の一つに「土・水・風と遊べる元気な子ども」がある。目標達成に向け、職員を3チームに分けた研究を継続して行っている。昨年度は、「布あそび」や「サーキットあそび」、「身近にある自然」をテーマに掲げ、自然では、水の感触に親しむ事や落ち葉を追いかけ風を感じる、太陽の光りを浴びる等の体験を、日常の保育の中で実践している。遊びに興じる子どもの姿を写真に撮り、解説も入れ、冊子にまとめている。具体的な取り組みを学識経験者を招いて研究発表をしており、学びを通して質の高い教育・保育を実現している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	こども園として、高度な教育保育を行うための人材の充実に向けた、更なる取り組みに期待したい
	内容	園は地域の保育の拠点としての役割を担い、園内では保育者のグループごとの保育研究会を行い、発表の際には学識経験者による講評を受けて、資質向上に取り組んでいる。いっぽう、設立以来16年を経過し、高度な保育業務を維持するための人材の補充が必要になっている。人材の確保には法人のホームページからリンクする人材募集等で行っているが、昨今保育分野での人材獲得が困難な状況ではあるが、人材の充実の意見は職員アンケートに表れている。従って、保育の高度化を保つ意味でも、さらなる人員体制の充実を期待したい。
2	タイトル	併設されている児童高齢者交流プラザの児童館や学童クラブと連携を進め、意図的に計画的に施設間の交流を図る企画を検討してみてもどうか
	内容	芝浦アイランドこども園は、併設されている児童高齢者交流プラザの高齢者との関わり、盆踊りの指導や昔遊びの指導で、子どもと高齢者のよい交流が行われて成果が生まれている。一方、児童館との関係では、交流も行われているが、通常の利用程度のレベルである。子どもの遊び場として地域全体を視野に入れている児童館や、やがて学童クラブに通うことになるこども園の子どもたちの今後の生活の場として考えた場合、児童館学童クラブと意図的に計画的に交流を図る企画を検討してみてもどうか。子どもたちの生活、遊び、活動がさらに拡大すると思われる。
3	タイトル	クラス毎に立案した指導計画を開示しているが、個別指導計画の目標を個々に伝え、保護者と共に育てる取り組みにも期待したい
	内容	保護者に保育の計画を伝えるため、月間指導計画や週間指導計画を掲示している。内容も密度の濃い指導計画の開示は、教育・保育への取り組みの保護者理解につながっている。今後、さらに、毎月、0・1・2歳児クラスまで作成している月間個別指導計画の目標を知らせることは、保護者と園側が一体となって子どもの成長過程を見守る取り組みとなると推測される。個人面談などの機会を通じて、あるいは連絡帳の月の初めに、一人ひとりに立案した月間目標を保護者に伝達していくことができるよう、具体的な方法を考え、実現させていくことに期待したい。